



ストレージユニットの管理

ASA r2

NetApp
February 25, 2026

目次

ストレージユニットの管理	1
ASA R2ストレージシステムのストレージユニットの変更	1
ASA R2ストレージシステムでのストレージユニットの移動	2
ASA R2ストレージシステム上のストレージユニットの削除	2

ストレージユニットの管理

ASA R2ストレージシステムのストレージユニットの変更

ASA r2 システムのパフォーマンスを最適化するには、ストレージ ユニットを変更して容量を増やしたり、QoS ポリシーを更新したり、ユニットにマップされているホストを変更したりする必要がある場合があります。たとえば、新しい重要なアプリケーションワークロードが既存のストレージ ユニットに追加された場合、新しいアプリケーションに必要なパフォーマンス レベルをサポートするために、ストレージ ユニットに適用されているサービス品質 (QoS) ポリシーを変更する必要がある場合があります。

容量の拡張

ストレージユニットの書き込み可能なスペースが不足した場合にデータアクセスが失われないように、ストレージユニットの容量がフルに達する前にサイズを拡張します。ストレージユニットの容量は、ONTAPで許可されている最大サイズである128TBに拡張できます。

ホストマッピングの変更

ワークロードの分散やシステムリソースの再設定を支援するために、ストレージユニットにマッピングされているホストを変更します。

QoS ポリシーの変更

サービス品質 (QoS) ポリシーは、重要なワークロードのパフォーマンスが競合するワークロードの影響を受けて低下しないようにするためのポリシーです。QoSポリシーを使用して、QoS throughput_limit_およびQoS throughput_guarante_を設定できます。

- QoSスループット制限

QoS throughput_limit_ は、ワークロードのスループットを最大IOPS、最大MBps、またはIOPSとMBpsに制限することで、ワークロードのシステムリソースへの影響を制限します。

- QoSスループット保証

QoS throughput_guarantee_ は、重要なワークロードのスループットが最小IOPS、MBps、またはIOPSとMBpsを下回らないようにすることで、競合するワークロードによる要求に関係なく、重要なワークロードが最小スループットを達成するようにします。

手順

1. System Managerで、*[ストレージ]*を選択します。
2. 編集するストレージユニットの名前にカーソルを合わせます。
3. を選択し、*[編集]*を選択します。
4. 必要に応じてストレージユニットのパラメータを更新し、容量の拡張、QoSポリシーの変更、ホストマッピングの更新を行います。

次の手順

ストレージユニットのサイズを拡張した場合、ホストがサイズの変更を認識できるように、ホスト上のストレージユニットを再スキャンする必要があります。

ASA R2ストレージシステムでのストレージユニットの移動

ストレージ可用性ゾーンのスペースが少なくなってきた場合は、ストレージユニットを別のストレージ可用性ゾーンに移動して、クラスタ全体でストレージ利用率を分散させることができます。

ストレージユニットがオンラインでデータを提供している間に、ストレージユニットを移動することができます。移動処理は無停止で実行されます。

開始する前に

- ONTAP 9.16.1以降が実行されている必要があります。
- クラスタが4ノード以上で構成されている必要があります。

手順

1. System Managerで*[ストレージ]*を選択し、移動するストレージユニットを選択します。
2. を選択し、*[移動]*を選択します。
3. ストレージユニットの移動先のストレージアベイラビリティゾーンを選択し、*[移動]*を選択します。

ASA R2ストレージシステム上のストレージユニットの削除

ユニットに含まれるデータを維持する必要がなくなった場合は、ストレージユニットを削除します。不要になったストレージユニットを削除すると、他のホストアプリケーションに必要なスペースを解放できます。

開始する前に

削除したいストレージユニットがレプリケーション関係にあるコンシステンシーグループ内にある場合は、"[コンシステンシ・グループからのストレージ・ユニットの削除](#)"削除する前に。

手順

1. System Managerで、*[ストレージ]*を選択します。
2. 削除するストレージユニットの名前にカーソルを合わせます。
3. を選択し、*[Delete]*を選択します。
4. 削除を元に戻せないことを承認します。
5. 「*[削除]」を選択します。

次の手順

削除されたストレージユニットから解放されたスペースを、"[サイズを大きくする](#)"追加の容量が必要なストレージユニットに使用できます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。